

「来週から、寒くなります」との予報が外れ気味で、ちょっと長めの秋を満喫しておりましたが、いよいよ本格的な冬の訪れです。

現在会員登録数 3,953 人さま。次号は 1 月 20 日発行の予定です／

☆。.:*。★。.:*。☆。.: 目次 *。☆。.:*。★。.:*。

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》子どもの本の珠玉のことば

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

☆。.:*。★。.:*。☆。.: *。☆。.:*。★。.:*。

【1】お知らせ

● 講演会の報告集を販売しています

『2021 年度国際交流事業報告集 オンライン国際講演会「ことばを超えて
ー絵で物語るー』(講師：デイヴィッド・ウィーズナー、ショーン・タン)
2022 年 10 月発行 1,100 円(税込)

『2021 年度講演会報告集「シンデレラ話の多様な世界を楽しもう』

(講師：横川寿美子) 2022 年 6 月発行 880 円(税込)

『2020 年度講演会報告集「しかけ絵本に驚く、楽しむ イギリスの歴史から
はじめて』(講師：三宅興子) 2022 年 3 月発行 1,430 円

詳細、その他の出版物は ↓

http://www.iiclo.or.jp/06_res-pub/05_publication/index.html#hanbai

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

* 年間 1 万円以上ご寄付いただいた方には、イイクロちゃんグッズをプレゼントしています。

※詳細は → http://www.iiclo.or.jp/donation_10th.html

※Syncable → <https://syncable.biz/associate/19800701/>

● YouTube「大阪国際児童文学振興財団 公式チャンネル IICLO」

<https://www.youtube.com/channel/UCgPj7D2ReQ0J03zhMMLfuIA>

公開内容一覧は → http://www.iiclo.or.jp/m1_youtube/index.html

● 当財団公式 Twitter → https://twitter.com/IICLO_News

■ ----- ■
【 2 】 コ ラ ム
■ ----- ■

《 1 》この本読んだ？ Yasuko's & Takeo's Talk

『新装版 車のいろは空のいろ ゆめでもいい』 あまんきみこ/作 黒井健/絵 ポプラ社 2022年11月 対象年齢：小学校低学年から

* 今回のゲストは当財団の宮川健郎理事長（T）です。

あらすじ：『車のいろは空のいろ』22年ぶりの第4巻。人間の男の子に化けているつものたぬきがタクシーに乗る「きょうの空より青いシャツ」、月の光で人間の子どもに変身したねこの子どもたちと松井さんが夜の公園で出会う「子ぎつねじゃないよ」、赤ちゃんを抱いた女の人がセーラー服を着た少女とおかあさんに変身する「ゆめでもいい ゆめでなくてもいい」など、運転手の松井さんがタクシーに乗って不思議な体験をする7つの短編集。

T：2000年に3冊本（『白いぼうし』『春のお客さん』『星のタクシー』）が出版されて、これで『車のいろは空のいろ』の定本ができて、完結したと思っていましたから、びっくりしました。ビッグニュースですね。

Y：はい。書き下ろしが4作品もあって松井さんの新しいお話が読めてうれしかったです。

T：おなじみの北田卓史さんが1992年にお亡くなりになったので、今回、新たにシリーズ全部に黒井健さんが挿絵を描かれました。

Y：北田さんの挿絵に子どもの頃から親しんできたので、どんなふうを感じるかなとおそるおそるページを開きましたが、読み始めたとき、とてもスムーズに『車のいろは空のいろ』ワールドに入っていました。

T：自然で親しみやすい絵でした。

作品については、よりあまんさんらしい物語になったと思いました。不思議の世界への入口と出口がはっきりしている、いわゆるファンタジーではなくて、現実と不思議の境界があいまいで、にじみあっています。タクシーが乗客の夢の中に入っていくような作品も2つあります。

Y：まさに、そのことは、この本のタイトル「ゆめでもいい」に表現されているように思います。

また、私は4巻目で、これまで以上に、たぬきやねこやきつねがりのままの姿で自分らしく生きることが肯定されているように思いました。

T：1965年に発表された最初の作品「くましんし」にもありのままの姿でいることの意味が描かれていましたが、くましんしはふだんは人間に化けて生活しています。けれど、『ゆめでもいい』では、人間に化けない登場人物が出てきます。まるで、動物たちが作者に「そのままでもいいんだよ」と言われているようで、だれしもが生きていることを肯定されているように感じます。

Y：過去、現在、未来と3つの時間が出てくるところもおもしろかったです。また、必要なことばだけで綴られていて、なおかつ場面のイメージが沸き上がってきて、あまんさんの声が聞こえるような気持ちがしました。季節

感があって、月の光の不思議さが描かれているところも、タクシーに乗る子どもたちの喜びが描かれているところも、シリーズ全体に共通していて、心地よく読めました。

T：時間の往還が大きく、歌もたくさん出てきて、『車のいろは空のいろ』の集大成のような作品になったと思います。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第88回「竜と詩人」

「詩の根源」にふれる

竜は、千年前に犯した罪のために、聖竜王によって洞に閉じ込められています。朝、洞の外から若々しい声がします。——「敬うべき老いた竜チャーナタよ。朝日の力をかりてわたしはおまえに許しを乞いに来た。」黄金の太刀をはいた立派な青年でした。竜は、「何を許せというのか。」とたずねます。

スールダッタというこの青年は、昨日の詩賦（うた）の競いの会で歌い、みんなにほめられ、偉い詩人のアルタは自分の高い座を青年にゆずりました。ところが、夜更けに母のところに帰る道で、だれかがひそひそ語っていました。青年は、老竜の歌を盗み聞いて、それを歌ったというのです。たしかに、青年は、洞穴のそばで歌を考えていました。——「そしてあのうたはある雲くらい風の日ひるまのまどろみのなかで聞いたような気がする。」竜は、詩人のアルタが「風がうたい雲が応じ波が鳴らすそのうたをただちにうたうスールダッタ」とほめたのを確かめた上でいいます。

〈スールダッタよ、あのうたこそはわたしのうたでひとしくおまえのうたである。（中略）

そのときわたしは雲であり風であった。そしておまえも雲であり風であった。詩人アルタがもしそのときに瞑想すれば恐らく同じいうたをうたったであろう。〉

風と雲の歌を「詩人にとっての詩の根源」としたのは、伊藤真一郎です。スールダッタは、「詩の根源」にふれて、それを竜と共有しながら、「声と言葉による歌い手であり、人の世界に形ある一つの歌をもたらず文字通りの詩人である。」ともいいます。（伊藤「龍と詩人」論 1974年）。

童話集『注文の多い料理店』序（当メルマガ NO.142）などには「語りのオリジン（起源）」が見られるとしたことがありますけれども、「竜と詩人」も、「オリジン」にかかわる物語です。「語りのオリジン」は、天沢退二郎のことばですが（「詩人《宮沢賢治》の成立」1968年）。その天沢は、「竜と詩人」から賢治の長詩「種山ヶ原」パート三（水や光や風ぜんたいがわたくしなのだ……）を思い出すと述べています（新潮文庫『ポラーノの広場』収録作品について）。（馬車別当）

（本文の引用は、新潮文庫『ポラーノの広場』によりました。）

《3》子どもの本の珠玉のことば 42

こたたん山の くまたちは
人におわれて 人になる
こたたん こたたん

雪のふる朝 山こいし
雨のふる夜も 山こいし
こたたん こたたん

(「くましんし」 『車のいろは空のいろ 白いぼうし』 あまんきみこ/作
黒井健/絵 ポプラ社 2022年11月 p.93)

単行本『車のいろは空のいろ』(あまんきみこ/作 北田卓史/絵)は1968年
に出版されました。我が家にも一冊あり、母に何度も読んでもらった記憶が
あります。母は、引用部分の歌を「ラララドレーソソ ミミレドミー ミーソ
ソミミレドレミレドラ ララドソラーラー」(下線はドより低い音)と歌って
おり、くまの寂しさを感じながら聞いていました。

このお話は、松井さんのその夜の最後のお客であった熊野熊吉さんが、わざ
と客席に財布を置いたことで、松井さんが熊野さんの家を訪ねるところから
始まります。熊野さんは松井さんを自宅に招き、自分の正体がこたたん山の
熊であることを告げます。そして、「ほんものの顔のまま、人間とはなしをす
るのは、はじめて」だと言い、本当の姿のままにいられるのはそれだけでうれ
しいと言います。

歌は「こ」「く」というカ行の音が胸につかえた熊野さんの思いを表現し、「た
たん たたん」というリズムが、歌に余韻を残しています。歌は、「さびしい
朝には うたうたう こいしい夜には ゆめを見る」という3番があり、4
番は「人の世界に くまがすむ くまの世界に 人がすむ」、5番は「どちら
がどうか わからない どちらがどうしても かまわない」となります。子ど
も心に、くまは自分たちを追い出した人を敵と考えるのではなく、共生する
相手として考えてくれていることに寛大だなと思ひ、街を歩いている人の中
にもくまがいるのかもしれないなと思ったことを覚えています。(Y)

《4》行って来ました！

あべのハルカス美術館で2023年3月5日まで開催されている「アリスーへん
てこりん、へんてこりんな世界ー」に行ってきました。『不思議の国のアリス』
と『鏡の国のアリス』はルイス・キャロル(本名チャールズ・ラトウィッジ・
ドジソン)によって書かれ、ジョン・テニエルが絵をつけて、それぞれ1865
年、1871年に出版されました。展示では、ジョン・テニエルの挿絵の原画、
習作、校正刷り、初版本、写真、映像、舞台衣装など、英国ヴィクトリア・ア
ンド・アルバート博物館と海外所蔵作品を中心とする貴重な作品と資料約300
点を紹介しています。

全体は、1章「アリスの誕生」、2章「映画になったアリス」、3章「新たなアリス像」、4章「舞台になったアリス」、5章「アリスになる」の全5章で構成されており、「チェシャー猫」、「お茶会」、「涙が池」のインスタレーションがありました。

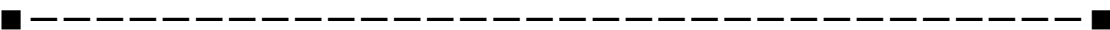
1章「アリスの誕生」には、著者キャロルやモデルとなったアリスと姉妹の写真、テニエルの原画、『鏡の国のアリス』の挿絵をどのページにどんな大きさで入れるかの案の綿密な手書きメモなど、貴重な資料が展示されており、出版されたときの様子を想像することができました。『鏡の国のアリス』の「融け始めた鏡を通り抜けるアリス」の場面では、鏡の世界と現実の世界では文字も逆になっているなど、テニエルの徹底ぶりがわかります。

2章「映画になったアリス」では、1903年と1931年に公開された2つのサイレント映画の一部分が隣どうしで比べられるようにして上映されており、特撮のない時代にアリスの体が大きくなったり、赤ん坊がブタに変身したりする様子が工夫を凝らして撮影されていて興味深かったです。また、3章「新たなアリス像」には、サルバドール・ダリや草間彌生の絵なども展示されており、社会の変化とともにアリス像も変化していることがわかりました。

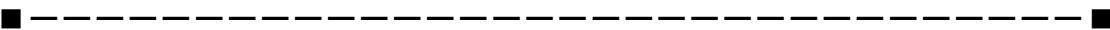
そのほか、映画や舞台のポスター、バレエの衣裳など、いろいろなアリスがあり、世界中でアリスが愛され、作品が作り続けられていることがわかりました。「狂ったお茶会」のインスタレーションは、はじめは真っ白の、食器が並べられた横長のお茶会のテーブルが、プロジェクションマッピングでいろいろな色の食器やケーキに変化して、アリスのナンセンスの世界を表現していました。

あり得ないことが起こるのはいつの時代でもおもしろいんだなあと思いながら帰途につきました。(K)

あべのハルカス美術館 <https://www.aham.jp/>。



【3】全国のイベント紹介



● 資料展示「国際児童文学館所蔵資料にみる 絵本史にかがやく名著たち」
明治以降、印刷技術とともに発展してきた日本の絵本の歴史を国際児童文学館の所蔵資料でたどります。

会 期：開催中～12月28日（水） 休館日あり

場 所：大阪府立中央図書館 展示コーナー、国際児童文学館（東大阪市荒本）

主 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

協 力：大阪国際児童文学振興財団（IICLO）

● 展示「中辻悦子 起・承・転・転」

会 期：開催中～2023年1月22日（日） 休館日あり

場 所：BBプラザ美術館（神戸市灘区） 料 金：有料（大学生以下無料）

時 間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

主 催：BBプラザ美術館、（株）シマブンコーポレーション

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベントの開催内容が変更される可能性があります。最新情報は主催者へお問い合わせください

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

■ ----- ■
【４】プレゼント ☆

■ ----- ■
今号のコラム《１》「この本読んだ？」で紹介しました『新装版 車のいろは空のいろ ゆめでもいい』をプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.148 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ

office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は2023年1月10日(火)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |
— | — | — | — | — | — | — | — |

いろいろなイベントや会合が3年ぶりに開催され、今秋は久しぶりに多忙な日々を過ごしましたが、気がつけば今年も残りわずかです。本年もご愛読いただきありがとうございました。多くのあたたかいご支援に深く感謝いたしますとともに、来年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
みなさま、どうか健やかに新年をお迎えください。(T A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。

原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp